

# Overview in Dintistry1

1 unit 6th-year(1st semester)

基礎系教員

**Target)** 基礎歯科医学で学習したことを臨床歯学の基礎として統合し、理解する力を育成する。

**Outline)** 生体、とくに顎顔面領域の構造とその機能の知識を統合する。また、生体材料の特徴を理解し、疾患に応じた組織再建の方法について整理する。

**Style)** Lecture

**Manner)** 講義

**Location)** 金曜5時限 示説室

**Notice)** 試験を受けるためには授業時間の3分の2以上出席していなければならない。その他の要件としては、学生便覧の歯学部規則に従う。

**Schedule)**

	大項目	内容	担当
1.	イントロダクション・生理学	イントロダクション, 細胞の機能, 神経, 筋, 体液と循環, 呼吸, 排泄, 感覚機能, 自律機能, 脳機能, 脳神経, 顔面の体性感覚	上記担当教員
2.	口腔生理学	〃	〃
3~4.	解剖学	頭頸部の骨・筋・脈管・神経, 腺組織 口腔領域の発生, 加齢変化	〃
5~6.	口腔解剖学 口腔組織学	軟骨と骨, 歯, 歯周組織, 唾液腺, 頭頸部, 顎と顎関節, 発生, 加齢	〃
7~8.	生化学 口腔生化学	L歯と歯周組織(核酸, タンパク質), 石灰化機構, 骨・軟骨, カルシウム代謝, 唾液・唾液腺, 歯面への付着物, 代謝とその相関	〃
9~10.	細菌学 口腔細菌学	微生物, 免疫, 口腔微生物	〃
11~12.	薬理学 歯科薬理学	薬物療法の目的と分類, 薬物の管理, 用量, 薬理作用の機序, 薬物動態, 投与方法, 併用と相互作用, 副作用, 処方と処方箋, 薬物適用上の注意	〃
13~14.	病理学 口腔病理学	歯・口腔・顎・顔面疾患の病因・病態	〃
15~16.	歯科理工学	材料の組成・物性, 材料の用途別種類と性質, 材料の取扱い技術, 歯科用機械・器具	〃

**Evaluation Criteria)** 試験を行う。試験方法については、担当教員を交え教務委員会で協議決定する。

100点満点で60点以上のものを合格とする。

**Re-evaluation)** 行う。

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217356>